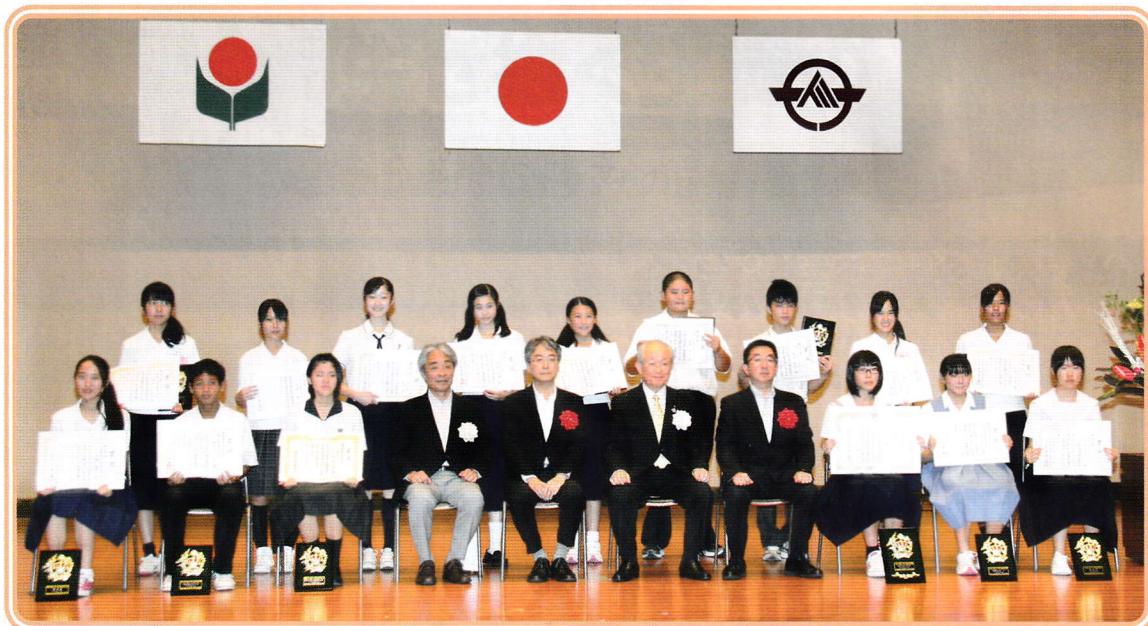




まちかど

苅田町青少年育成町民会議だより



平成26年度「少年の主張」福岡県大会 in 苅田町
「いま中学生が訴えたいこと」

「少年の主張」福岡県大会 開催!!

8月23日(土) 苅田町の中央公民館大ホールにおいて295件の応募作品の中から選ばれた15名の弁士が、命の大切さ、家族の大切さ、国際化の社会の課題、将来の夢などを約5分にまとめ、熱弁を振るいました。

当日は、開催地 苅田町・苅田町教育委員会をはじめ、苅田町青少年育成町民会議等関係者のご協力により、聴衆の心に響く発表者の熱弁と、アトラクションとして、「かんだ太鼓波動会」、片島小学校児童の皆さんによる“子ども神楽‘おろち’”、「新津中学校吹奏楽部による演奏」をしていただき、本年の少年の主張福岡県大会は、盛会のうちに幕を閉じました。 (関連記事P3)

心豊かでたくましい 青少年の育成を目指しましょう

11月は全国青少年健全育成強調月間

全ての青少年の健やかな成長を願って…。



苅田町青少年育成町民会議は、青少年を明るくのびやかに育てようと、いつも子どもたちを見守っています。

1・2年生は、春の頃に比べると、一段としつかりして来て、次の苅田中を荷つている気配を感じました。「おはようございます」の挨拶を交わし、すがすがしい気分になりました。生徒たちは、「今日も一日いろんなことを学ぶことでしょう」と頑張れと心でエールを送りました。楽しいことや、いろんな知識を得たらそれを膨らませ、悲しいことや、いやなことがあつたら、一人で悩まず、いろんな人に聞いてもらいましょう。

10月17日(金)「朝の声かけ運動」で苅田中学校前に立ちました。3年生はこの日、中央公民館で高校説明会のため不在でしたので、普段よりも少なく感じました。

朝の声かけ運動

苅田中学校 教育講演会

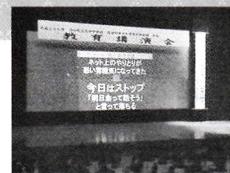
- 演題 「ネットによる誹謗中傷・いじめ等の防止」
- 日時 平成26年11月8日（土）
- 会場 苅田町中央公民館 大ホール
- 講師 NPO 法人子どもとメディア

公式インストラクター 中村佳代子先生

現代の中学生にとって、スマホやSNSでのトラブルは大きな問題になっています。中学生・高校生のトラブルの実例を多く挙げながら、その中で、家庭でのルールとして「22時以降は使わないこと!」がとても大切であり、トラブルに巻き込まれないようにする手段の1つだという話でした。そして、もしトラブルに巻き込まれそうになったときは、親や大人に相談し、早めに対処することが大切だということでした。

最後に、生徒会長の井本あかりさんが謝辞の中で、「自分はトラブルに巻き込まれないと思っていたが、そうではなくスマホのトラブルを自分の問題としてとらえ、もしトラブルにあったときは、先生の話を思い出し、対処していきたい。」と話をしてくれました。

休日にもかかわらず、多くの保護者が出席してくださり、スマホやネット犯罪について考えることができました。そして、子どもたちをネットトラブルから守るためにも、子どもたちと保護者と一緒にになって考えることの大切さを学ぶとても有意義な教育講演会でした。



＜生徒の感想＞

●私は先日の講演会を聞いて、ネットの怖さを改めて感じました。私もスマートフォンを持っていて、それを当たり前のように使っていました。だから、ネット依存やその危険性を聞いたときとてもびっくりしました。

LINEでのグループトークやタイムラインによる事件やもめ事が起こっていることを知らなかったので、もっといろんなことを知りたいと思いました。スマホやネット依存になってしまって、大切な家族や友人を傷つけてしまうことのないように、自分で自分をきちんとコントロールできるようになりたいです。

スマホを持つこと自体は悪いことではないと思うので、「正しく使う」ことを心がけたいです。この講演を聴けて良かったです。ありがとうございました。

(3年生女子生徒)

●私は、教育講演会を聞いて、スマホの怖さを学ぶことができました。

私はまだスマホやiPhoneを持っていませんが、中村先生が話してくれた実際にあったトラブルの話を聞くと、スマホを使うことが怖くなりました。私がスマホを持ったら、使う時間を決め、先生が教えてくれたことをしよう思います。

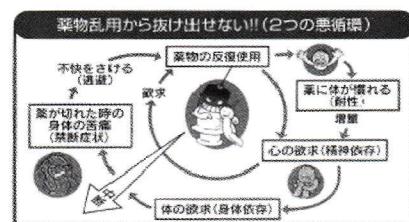
(3年生女子生徒)

少年非行・シンナー等薬物乱用防止講演会

- 演題 『心の声が聞こえていますか』
- 日時 平成26年7月31日（木）
- 会場 苅田町中央公民館 第5研修室
- 講師 福岡県警察本部生活安全部少年課
飯塚サポートセンター巡查長 湯口 晴菜 氏

講演内容は、健康や生命を危うぐする薬物乱用について、正しく理解し、子どもたちを守るために、家庭、学校、地域住民、関係団体などの連携がより一層重要になってくるといったことを主なテーマとし、ご講演をいただきました。

当日大変お忙しい中、ご参加をいただいた皆様ありがとうございました。



依存性：一回ぐらいならと思っても、また使いたくないなり、繰り返し使ううちに薬物の使い方のコントロールがきかなくなってしまうこと。

耐性：使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効きめがうすれしていくこと。

「平成26年度少年の主張福岡県大会」

県知事賞を受賞し、全国大会に選出されました、飯塚市立飯塚第一中学校3年山本由菜さんの内容をご紹介します。(関連記事P1)



子は宝・自分の命より大切なもの

福岡県 飯塚市立飯塚第一中学校 三年 山本 由菜

生まれたばかりの赤ちゃんを抱き、若いお母さんが感動の涙を流す姿をテレビなどで見たことがあると思います。ここにいる私たちも生まれたことをたくさん的人に喜んでもらい、たくさんの愛情に包まれてきたはずです。ところがいつの間にか親に反抗したり、親の言葉に耳を傾けなくなっています。

私もいつの頃から父の一言にイラッとした旅立ちました。しつけには厳しい母でしたが、たくさんの愛情を注いでくれました。私が落ち込んでいる時も、楽しくて仕方のない時も、話を聞いてくれました。常に私の隣には母の笑顔があり、今でもその笑顔を思い出さない日はありません。

母は、白血病にかかり、去年、四十四歳で天国へ旅立ちました。しつけには厳しい母でしたが、たくさんの愛情を注いでくれました。私が落ち込んでいる時も、樂しくて仕方のない時も、話を聞いてくれました。常に私の隣には母の笑顔があり、今でもその笑顔を思い出さない日はありません。

母は、毎日日記をつけていました。その日記は薬の副作用の吐き気やだるさ、死ぬことへの不安など赤裸々に綴られていきました。その中に「きつい。でも子どもたちのために病気化していくました。どうとう自分の力では立ったことも、歩くこともできないようになります。

母は、毎日日記をつけていました。その日記は薬の副作用の吐き気やだるさ、死ぬことへの不安など赤裸々に綴られていきました。その中に「きつい。でも子どもたちのために病気化していくました。どうとう自分の力では立ったなきや。子どもたちの笑顔を見たい。」と書かれてあるのを見つけました。読んだ瞬間、涙があふれました。苦しい治療に耐えながら、私たちのことを思って病気と闘っていると思うと胸が締め付けられるようでした。

私が病室を訪ねると、母はやせ細った手で私の手を握ってくれます。細い手から伝わる母のぬくもりを感じながら、あとどのくらい一緒に居れるのかと考えると、急に悲しくなり、母の前で泣いてしまいました。母も私を見て泣きました。私は、泣きながら母の涙を拭いてあげました。すると「由菜の笑顔が一番がら精一杯笑ってあげました。私は泣きな

それから一週間、何をしても母のことしか考えられませんでした。担任の先生から、すぐ病院に行きなさいと言われた時、今まで感じたことのない嫌な予感がしたことを覚えています。病院へ向かいながら涙が止まりませんでした。

だんだんと母の体が冷えていくのがわかりました。そして家族に見守られながら息を引き取りました。母の心臓が止まつた後も私はずっと手を握っていました。もうと一緒にいてあげれば、もっとありがとうと言えればもっとお母さん大好きだと伝えればよかつたと心の中で考えながら。

母のおかげで、今まで以上に人の気持ちを考えられるようになります。私は十四年間という少ない時間の中でした。が、たくさん

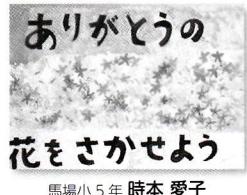
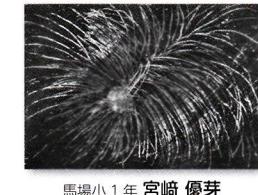
の愛情を注いでくれた母がいたので、家族で協力し合いながら、今は毎日笑顔で過ごせています。母がいなくなつた代わりに父が家事をしてくれています。また父も、中学二年生の娘にどう接していいのかきっと悩んでいるのです。父にはとても感謝しています。毎日疲れているのに必ず夕食を作ってくれます。母の優しく包み込んでくれる愛情ではないけれど、子どもや家族を守つていこうと思いません。そんな父の姿を見ると、とても文句を言つたり反抗したりすることはできないのです。父にはとても感謝しています。毎日

疲れているのに必ず夕食を作ってくれます。母の優しく包み込んでくれる愛情ではないけれど、子どもや家族を守つていこうと思いません。そんな父の姿を見ると、とても文句を言つたり反抗したりすることはできないのです。父にはとても感謝しています。毎日

疲れているのに必ず夕食を作ってくれます。母の優しく包み込んでくれる愛情ではないけれど、子どもや家族を守つていこうと思いません。そんな父の姿を見ると、とても文句を言つたり反抗したりすることはできないのです。父にはとても感謝しています。毎日

平成26年度苅田町「家庭の日」「オアシス運動」コンクール入賞者発表

馬場小2年 玉井 江利花	南原小5年 野川 ひな
南原小3年 栗屋 光希	南原小5年 川崎 愛理沙
南原小3年 岩田 崇志	南原小6年 大熊 リコ
南原小3年 安東 薫彦	南原小6年 福山 祐輔
南原小3年 村上 明優	南原小6年 葭田 大成
南原小4年 西村 まどか	南原小6年 中村 奏美
南原小5年 堀 咲夢子	南原小6年 梅林 芳野
南原小5年 蒔苗 真綸	南原小6年 杉下 奈美佳
南原小5年 中園 庸介	



★すべて《奨励賞》
(敬称略、順不同)

テーマ 子どもたちへ「星と宇宙」子どもフェスティバル開催

2014.10.19

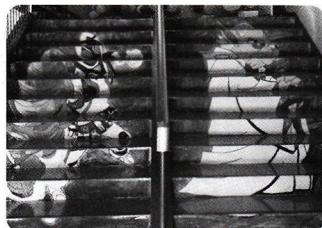
子どもたちの体験!

沢山の子どもたちが来てくれて、とても嬉しかったです。

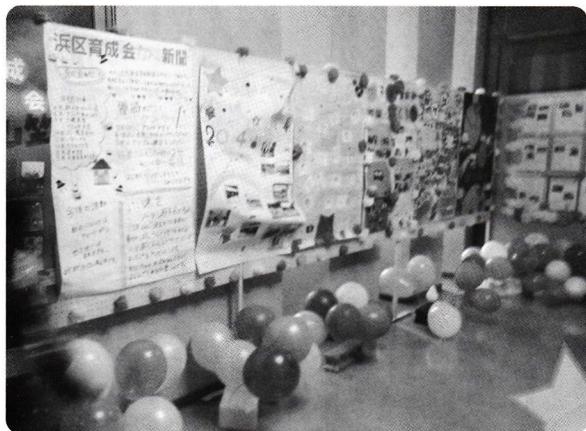
苅田山笠も来てくれていました。子どもたちの祭への熱き思いを感じました。今回もすべて、子ども会の役員・連合会のスタッフ・ジュニア・リーダー等で作りあげました。

発表・展示・射的・などなど未熟ではありますか、頑張っていました。祭の楽しさ、商品を売る難しさなど体験していました。

ふりかえりをした時は、売れない事に不満のようでしたが、なぜ売れなかったのか…次回は答えを出すそうです。この体験をまた次の子どもに繋げて欲しいです。(育成会田口)(関連記事P6)



ジュニアリーダー達の階段張りの絵▲



◆連合会の
スタッフの
アートです。



募集

中高生のジュニアリーダーの皆さん活動を広げよう..



バア～バアの一言

No.30

子どもの姿にズームイン!!

子どもたちを見ていると、いろんなことが知らな過ぎます。危険に対しても無知です。場の空気が読み取れません。これでいいのかなあ～?体験不足ってことかなあ?でもね、ゲーム(機)はとても上手なのよ。

「そんな事も知らんの?」って、いつも怒られているバア～バア～です。

次世代の子どもたちには「さんま」が無いらしい。さんま!あのおいしい秋のさんま?ここの「さんま」とは、「時間 空間 仲間」の3つの間のことを言うそうです。頭の良い人はなんでも考えるね。学校では土曜日が休みになり、一年生でも六時間があるそうです。近所などで、集団あそびの時間は無い、塾や習い事で忙しい、余暇はゲーム機、あそぶ空間(場所)は、車社会で取られてしまっています。公園は狭いし、ボール投げやかくれんぼなど出来ません。自然とひとりあそび、ゲーム機に繋がります。また仲間では、多くの子どもがゲーム機であそんでいます。

昔は、兄弟等が七人～九人といいて、ケンカが絶えませんでした。七番目の私は、なんとか兄を泣かしたくて、いろんな手を使うのですが駄目でした。反対に母から、「あなたがいらんことをするから、泣く目になるのよ」と怒られました。母たちの子育ての大きさを感じました。危険回避、他者へのきずき 発言の力、創造力を育てましょう…その為には、かわいい子には旅をさせましょう。いろんな体験をさせましょう。それと大事なことは、体験をふりかえってみましょう。そうしたら前向きなやる気のある子に育つかな…。

新津中学校

新津中学校は、全校児童は475名、職員は32名の規模で、
毎日明るく元気に過ごしています。

新津中学校では



自ら学び、豊かな心・たくましい身体で 生き抜く生徒の育成



を目標に挙げています。その目指す生徒像は次の4点です。

- 学校生活の基本ルールを守り授業に集中して意欲的に学ぶ生徒
- 生命を尊重し、感謝と奉仕の心を持って自他の人権を大切にする生徒
- 健康で公正な判断力と行動力を持つ生徒
- 自己実現に努め創意工夫を持って未来を切り拓く生徒



をスローガンとし、新津中学校では、次のような取り組みを中心に生徒を育てています。

1年生 宿泊体験学習

8月4日・5日の一泊二日で大分県の「香々地青少年の家」で様々な体験を通して友達や先生とのふれあいを深めていきました。



2年生 職場体験学習



苅田町内を中心にいろいろな職場で実際に働く体験をさせていただきました。



3年生 高校出前授業

行橋高校の先生とポプリ作りをしました。緊張したけど楽しかったです。

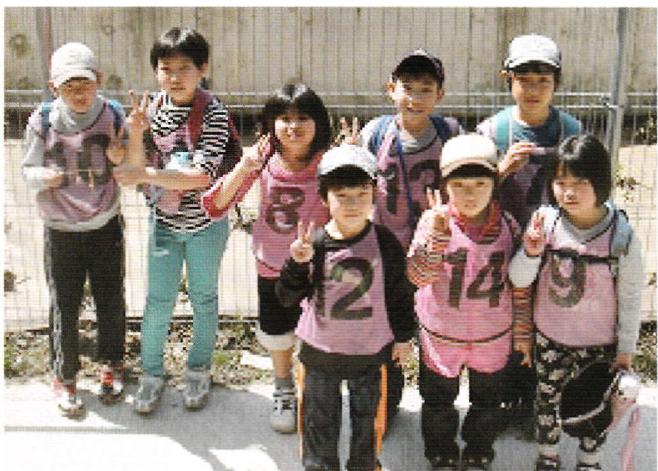


東九州龍谷高校の先生と、だんご作りをしました。とてもおいしかったです。



『放課後子どもひろば』紹介⑨

町内6校の小学校を順に紹介させて頂きます。今回は、片島小学校です。



新しく開通した東九州自動車道のトンネルの上でパチリ♪
とっても景色がいい場所です！



《活動の様子》

小規模校の片島小だからこそ、異学年の交流が盛んです。みんなとても仲良く、自然の豊かな地区ならではの活動を楽しんでいます。



地域の方々との交流！公民館まつりへ飛び入り
参加して餅つき体験♥

最高の散歩道です！



放課後子どもひろばよりお知らせ

子どもひろばは自動継続ではありません！来年度も子どもひろばの利用を希望される方は、年度末に行われる登録説明会へ参加してください。詳細はひろば便りにて知らせします！



苅田町役場 子育て支援課
TEL 093-588-1036



子ども
フェスティバル
「木工教室」
【関連記事P.4】
【カメラスクエッチ】

編集後記



平成26年度すこやか編集委員会
編集長 松枝 玲子
田口 滝田満里子
尾田 弘子
浜田 满里子
金丸 朝子
井上 裕介
晴樹 朝子

金丸 晴樹
で過ごしたいものです。
人生もつたない精神”
いのですが、資源的には“無
駄”も考えられます。残り
人生”もつたない精神”
が過ぎました。退職は長い
人生の中で、大きな節目で
す。無職になって、現役の時
には思いもよらない発見が
ありました。身辺整理中
に出てくる“無駄”です。今
となっては、不用な物です
が、思わず金目に換算して
しまいます。経済原則に
「規模の経済」という大量
生産、大量消費の考え方が
あります。経済的には正し
いのですが、資源的には“無
駄”も考えられます。残り

毎月第3日曜日は
「家庭の日」

編集・発行
苅田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
☎ 093-434-9838